

## 実績確認概要書

平成 27 年 10 月 7 日

ビューローベリタスジャパン株式会社

### 1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	ハクサン染工株式会社本社工場におけるボイラー更新事業
承認番号	KC1333
排出削減事業者名	ハクサン染工株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：三井住友ファイナンス&リース株式会社)
事業実施場所	ハクサン染工株式会社 本社工場 (住所：石川県金沢市専光寺レ3番地の11)
事業の概要	ハクサン染工株式会社本社工場において、既設の A 重油焚きボイラー2基を LNG 焚きの高効率ボイラー5基に更新する。これによりエネルギー効率を改善し、さらに燃料を A 重油からより低炭素の LNG へ切り替えることにより、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2012 年度 408tCO2/年 2013~2019 年度 2,363 tCO2/年 2020 年度 1,955tCO2/年 (事業実施期間合計 18,904tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2013 年 1 月 28 日 終了予定日 2021 年 1 月 27 日
排出削減方法論	方法論番号 001「ボイラーの更新」

### 2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日 (第 2 回目実績報告)

### 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	3,744tCO <sub>2</sub> (2013年4月1日～2015年3月31日)
-------	---

#### 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 第2回目実績のため、該当なし。</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認 導入した LNG ボイラーは実績確認期間中、継続的に稼働していることを、本実績報告対象期間における LNG 使用量の集計データ等により確認した。</p>
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。</p> <p>1) モニタリング方法の確認 審査関係者への質問、LNG 使用量の集計データ等により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従い、LNG 使用量のモニタリングが実施されていることを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 審査関係者への質問、LNG 使用量データ等の確認により、承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画通り、LNG 使用量の記録・保存が適切になされており、正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 使用されている単位発熱量、排出係数等が、J クレジット制度モニタリング・算定規定（別表）及び承認排出削減計画に従っていることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出</p>

	量、排出削減量の算定結果を根拠資料と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。
算定期間がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2013年4月1日から2015年3月31日までであり、排出削減量を算定した期間が2021年1月27日を超えないことを確認した。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）  
なし。

#### 6. 特記事項

確認した排出削減量に相当する省エネルギー量について、原油換算 239.8kl であることを確認した。

以上